

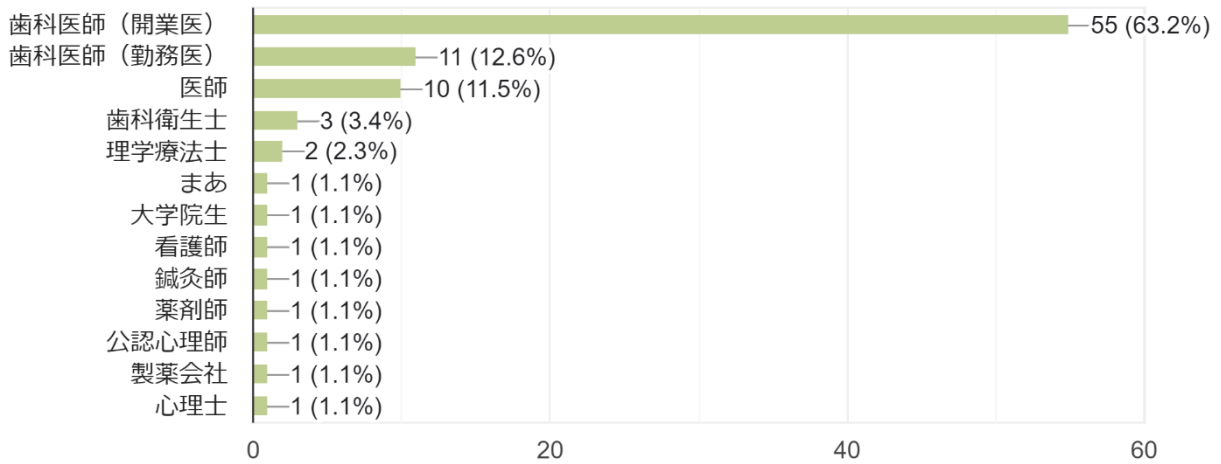
第2回歯科セミナー  
「第5回 歯科・口腔外科領域における  
痛みのとらえ方と集学的診療の必要性」  
アンケート集計結果

2023年2月5日(日) 13:00~16:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 140名 (オンライン 124名 現地参加 11名 登壇者 5名)

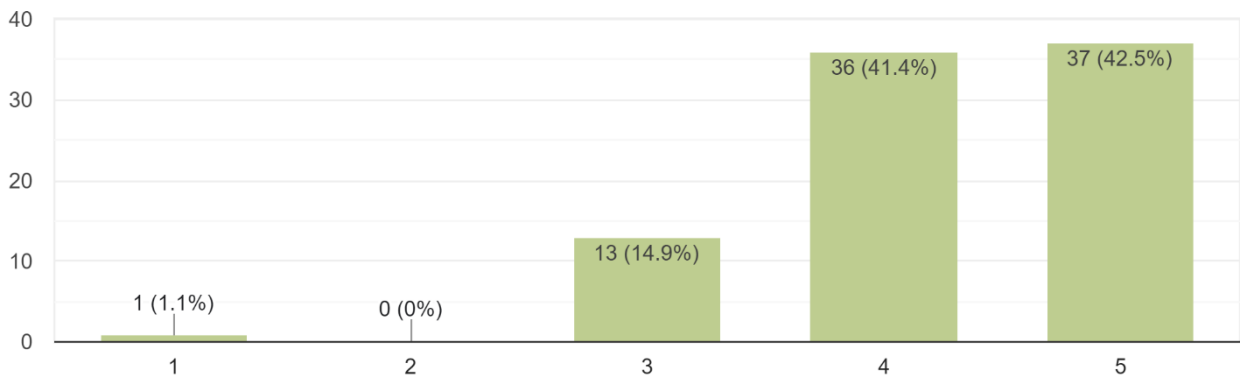
1. あなたの職種について教えてください。(複数回答可)

87件の回答



2. 今回のセミナーの感想をお聞かせください。

87件の回答

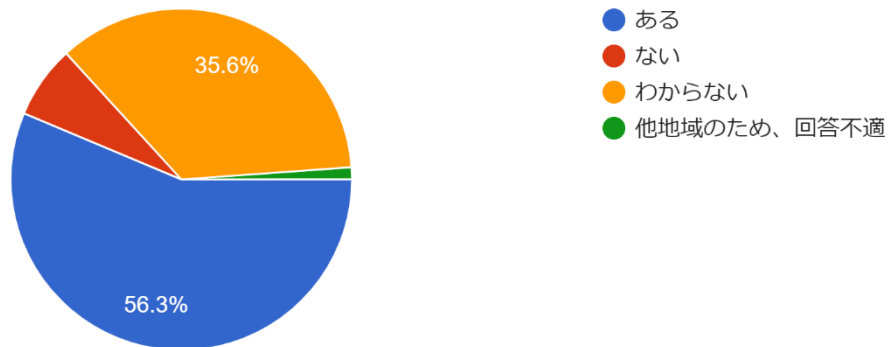


よくなかった

よかった

### 3. 今後、歯科口腔外科領域における慢性痛診療に...機関（25施設）との連携にご興味はありますか？

87件の回答



### 4. 歯科口腔外科領域における慢性痛と集学的診療に関するご意見をお願いいたします。

- ・ 賛同します
- ・ 認知していないドクターも多いので、さらに理解されるように活動しようと思いました。
- ・ 以前より集学的診療に興味があった勉強になりました。
- ・ 歯科医師と理学療法士の協働が大切だとわかりました。
- ・ 職場の上司から複合的に診ることが重要だと伺っていたので、集学的診療は賛成です
- ・ 集学的診療はもちろん理想ですし、実践したいところですが、実現までがなかなか遠い道のりです。
- ・ 参考になりました
- ・ 非常に興味深いものでした
- ・ 各地で積極的に行えればと思います。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 良いと思います
- ・ やはり歯科においても全く保険点数が取れないのが問題がある為講習を受けて認定されて何らかの点数が取れてもいいかと思います。
- ・ 患者さんからの情報をできるだけ集めることの重要性
- ・ 本モデル事業の協力医療機関（25施設）がどれくらい口腔顔面痛をどれくらい理解してくれているか知りたい
- ・ 連携先の構築が難しいですが、医科の先生が今日のような歯科領域の痛みのセミナーにご参加頂くことが連携につながるのではないかと、思いました。貴重なセミナーに参加させ

て頂きありがとうございます。

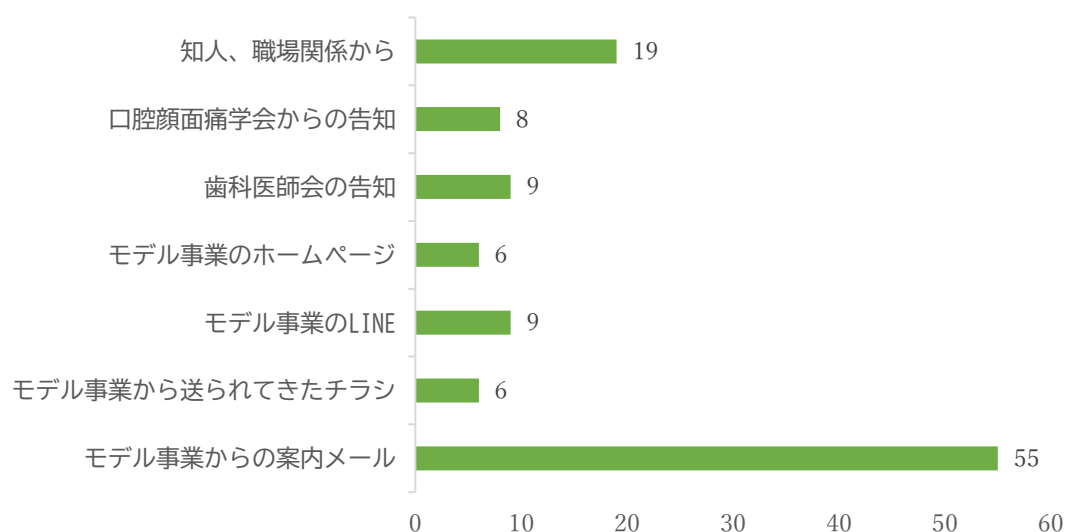
- ・なかなか難しいなあと思いました。
- ・歯科の狭い考えを助けていただきたいへん勉強になります
- ・認知行動療法を適確に行ってくれるところがない（中部地方）
- ・境界領域でもあるので治療側も患者側も迷うでしょう
- ・興味はある
- ・重要だが、まだまだ難しい課題だと感じています。
- ・VAS 自体誤差があるので SD のエラーバーがなく評価不十分だと感じた（1連の測定に3回は必須）。VAS の誤差は学生の実験的に3人で+20mm はあった。測れる多次元的な痛み  
の問診表の重要性が感じられた。顎関節症の割合は分子しか考慮されていなく本当に女性  
がリスクか根拠が乏しいと思われました。複数の問診などで調べたら、多重性を考慮し  
ないと偽陽性の確率が大きくなってしまいます。本気で痛みを何とかするには統計家と  
よい研究デザインをつくり検証する必要があると思いました。
- ・歯科との連携がなかなか難しいので直接の意見が聞けてとてもよかったです
- ・とても大切な連携と思います
- ・このようなセミナーを定期的で開催して頂きたい。
- ・他科との症例検討が必要
- ・幅広い分野の先生方のご意見を伺えて大変勉強になりました。
- ・医科と違い保険など制約が多いので線引きをはっきりして欲しい
- ・トリプタノールを歯科医師が処方できることがわかり診療の幅が広がると思います。
- ・連携なくしては成立しないと思います。
- ・歯科治療をきっかけとした慢性疼痛で痛みにとらわれている患者さんへのチームアプ  
ローチが、どこの地域でも行われていること、また患者さんへ提供できる環境となることを  
願っています
- ・慢性疼痛疾患を全く知らない若しくは理解していない歯科衛生士が多すぎる
- ・とても、重要と感じています
- ・地域の中核となっている病院歯科の先生方ともっと積極的に連携できたら良いのですが。  
安易な診断と治療を防ぐ上で幅広い知識を得る必要がある
- ・医科・歯科連携の充実と拠点病院必要と思います
- ・必要な事と思う
- ・一般歯科開業医でも集学的治療に取り組めるような枠組みや今回のようなセミナーを  
通じてでも多職種と連携がとれるようになればと思います。
- ・歯科に関しない疼痛があると、実感します。
- ・医科の理解が得られる名は有り難い
- ・難治性疼痛で悩んで手立てが見つからない患者のため、この取り組みを沢山の人の人に知っ  
ていただきたい。鍼灸師もその枠組みに入れていただきたい。

- ・それまで患者さんと信頼関係が取れていたにも関わらず、慢性疼痛が発生した後に信頼関係が上手く取れなくなる事例があり、難しく感じています。
- ・やはり、一般開業医で、医科領域の病名をつけてまでの継続的治療は難しいところがあると思いますが、スクリーニング能力を身につけた上で、スムーズな連携先や、相談先があれば、患者さんにとっても歯科医にとっても良い状況になってゆけると思います。
- ・慢性痛の説明が難しい
- ・具体的な相談先などを紹介していただけたら と思います。
- ・明日からの診療に役立つ講演でした。
- ・大切であるが、市中病院だと実施が難しく結局一人で行っている
- ・こちら側が勉強不足すぎて腰が引けがち
- ・心療内科や運動療法のアプローチ方法やその効果を知ることができて、とても有意義なセミナーとなりました。
- ・保険点数などの問題はありますが、少しでも患者さんの改善に力を注ぐためには、横断的な介入も必要だと思いますので、いち開業医ですが、できることはさせていただきたいと思えます！
- ・一般歯科に務めてる衛生士ですが、患者さんからの痛みに対する訴えに、Dr が手が開かず来るまでの間に相談に乗ってる現状がありますので、Dr だけでなく衛生士からも痛みに対する対応をお話出来て、その上で Dr から話があれば、余計患者さんへ話が通りやすい、受け入れやすそうだなと感じました。
- ・非歯原性疼痛を疑うケースは日々の診療に於いて対応に苦慮する事が多いので、他科との連携をスムーズに出来るシステムの構築が必要だと感じております。
- ・歯科で対応苦慮するような慢性疼痛の患者さんを受け入れてくれるような近隣の開業内科があると嬉しいです。歯科からいきなり精神科や心療内科に行つてとはなかなか言えませんし、大学病院に紹介したくても仕事されている方の場合平日仕事休んで受診するの嫌がられるので。
- ・貴重なご講演ありがとうございました。臨床において解明の出来ない痛みに遭遇する事がありますが、他科との連携も含めて考えることが大切だと改めて思いました。
- ・患者の話聞くことが大事だと思いますが、つつい答え（説明）しようと思いますが、説明を最後まで聞かないで次の質問や同じ質問を繰り返すか、すり替えていく患者に出会います。こちらが患者の話最後まで聞いていないのでしょうか。その辺の話の聞き方（聴収）の要領を教えてください。
- ・開業歯科医では医科の先生との連携が難しく地域で相談できるネットワークがあればと思います
- ・大学病院内ではいわゆるチーム診療がたやすく行われますが、一般開業で専門性を互いに分け合つての集学的、緩和治療が効果を上げるべく連携と連続性が求められている、歯科領域での慢性痛と領域から離れた状況でさらなる連携、連続性と持つための歯科医師の

情報を自ら進んで、機会あるごとに目を向けることが必要です。

- ・今回のご講演も大変勉強になりました。根管治療を行う時に改めて気を付けて参りたいと思いました。
- ・原因不明の疼痛であるとおおよそ結論づけるまでの歯科治療におけるやるべき段階などのガイドラインがあると、よくない治療や患者さんへの説明等に参考になると思われます。
- ・医科の先生方を始め多方面の方々のお知恵や情報を活かして患者さんにアプローチして行きたいと思います。ただ、歯科なのだから従来からの虫歯治療と歯石取りで充分という歯科医師がまだまだ多いのが実情です。今日は全国から多くの歯科医師の方々が受講されたとのこと。この傾向が広がることを願っております。
- ・zoomを使った症例検討会など小さな地域での勉強会も必要と思いました  
もう少し違ったとらえ方を紹介してほしい。この領域が進歩しているのか、停滞しているのかわからない気がします。
- ・歯科医として歯科病名以外の投薬などの制限が気になる気になる
- ・催眠等の心理療法についても教えてほしいです。
- ・歯科口腔外科領域における慢性痛と痛覚変調性疼痛との関連が明確になり、一般に受け入れられるような活動があればよいと感じました。
- ・心理士も含め連携できるといいと思いました。
- ・症例も多いので、是非連携していただけましたら助かります。
- ・心理テストを各種準備するのが大変そうです
- ・いつもありがとうございます。大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・他職種連携の構築が成功の鍵だと思います。
- ・最近関西医大に紹介させていただく例が数件ありました。ありがとうございます。滋賀県からは遠いので、滋賀医大でも歯科との連携がされているか知りたいです。
- ・本セミナーで集学的診療の重要性を再認識した
- ・歯科医師の先生方の治療方針等のお話が伺え、参考になりました。
- ・慢性痛の原因は話からにことが多いが、あまりに多くの意見があってもまとまりがなくなってしまうことが懸念される。
- ・大変興味深いです
- ・必要なことと思います。
- ・更なる連携の姿を見ていきたい
- ・教えていただきたい事がたくさんあります。

## 5. このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数選択可）



## 備考欄（ご質問などございましたらご入力ください）

- ・いつもありがとうございます。私は関東なのですが、関東でもこのようなセミナーがあればいいなと思います。
- ・ありがとうございました。是非とも続けていただきたいです
- ・最後の事例での質疑応答がきわめて素晴らしかったです。
- ・近畿地域外にも拘らず受講させて頂き、本当に本当に有難うございました。
- ・（松原先生へ）運動する意欲・元気がない方（家事など放棄している方に）に対してはどのような言葉掛けで運動療法を勧めますか？具体例があれば教えて下さい。
- ・緩和ケアを受けている患者さんに対しての、口腔疼痛などに対して、保湿やマッサージ以外にいい方法などあれば、今後聞いてみたいと思います。質問としては一般開業医からどれぐらい同じ痛みを訴える患者さんを専門医へ紹介するのか？期間的な事も分ければ、目安になるかと思しますのでお教えして貰えたら嬉しく思います。
- ・本日のすべてのご講演を拝聴致しまして、大変勉強になりました。ところで、高橋先生のご講演されておられました難治性の歯原性疼痛について書かれている論文を出来ましたらご教示頂きたいと思います。よろしくお願い申し上げます。
- ・今回も貴重な時間を頂戴しまして有難うございました。本日教えて頂いたことを職場のスタッフ達にも伝えて行きたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。